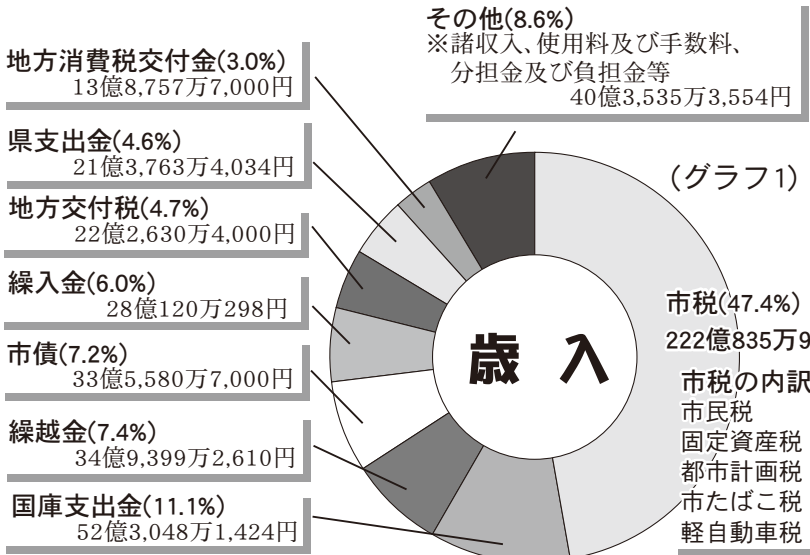


平成23年度の決算状況報告

平成23年度の一般会計決算がまとまり、第3回定例市議会で認定されました。市の財政の中心となる一般会計の歳入決算額は、468億7千670万9千290円、歳出決算額は443億9千134万7千72円となりました(表1)。今月は、市民の皆さんの税金がどのように使われているか、お知らせします。

歳入



歳入は、市の財源として入ってくるお金です。市に納めていただいた市税は、景気の低迷や東日本大震災の影響などによる個人市民税や法人市民税の減収などで、前年度に比べ2.7%の減となりました。また、市街地再開発事業などに係る国庫補助金や市有土地売却収入などの減収により、決算総額は前年度に比べ2.5%の減となりました。

グラフ1は、その内訳を表したものです。市税は歳入の約5割を占めています。次に多いのは国庫支出金となっており、以下、繰越金、市債、繰入金、地方交付税の順になっています。また、市民の皆さん一人当たり換算した市税は14万2千69円となりました。

歳出

歳出は、市民の皆さんのために使われるお金で、前年度に比べ0.5%の減となりました。グラフ2は、歳出を目的別に表したものです。民生費が最も多く、次いで総務費、土木費、教育費、衛生費の順になっています。また、市民の皆さん一人当たり換算した歳出の総額は28万3千976円となりました。表2は、歳出を性質別に表したものです。義務的経費は、人件費、公債費がともに減となりましたが、生活保護費や子ども手当費などの扶助費の増加により、前年度に比べ0.5%の増となりました。投資的経費である普通建設事業費は、狹山市駅西口地区整備事業の事業費の繰り越しなどにより、前年度に比べ15.3

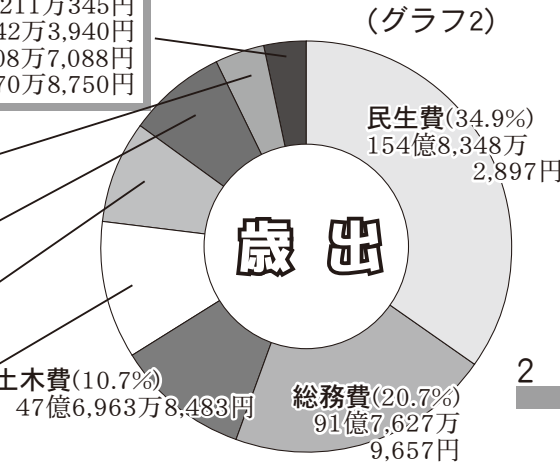
土工費(1.5%) 6億8,620万1,759円
議会費(0.8%) 3億7,211万345円
労働費(0.5%) 2億742万3,940円
農林水産業費(0.5%) ... 2億208万7,088円
諸支出金(0.0%) 70万8,750円

消防費(3.7%)
16億6,318万2,823円

公債費(7.8%)
34億4,725万8,325円

衛生費(8.2%)
36億5,386万7,102円

教育費(10.7%)
47億2,910万5,903円



%の減となりました。その他の経費は、委託料等の物件費や道路修繕工事費などの維持補修費の増加などにより、前年度に比べ2.3%の増となりました。表3は、重点事業の主な決算で、こども医療費支給事業などのソフト事業をはじめ、狹山市駅西口地区整備事業や狹山元氣、ブラザの開設に向けた旧狹山台北小学校跡利用施設整備事業、小中学校校舎等耐震補強事業など、さまざまな事業を行いました。

問合せ財政課へ内線7113

■歳入歳出総額 (表1)

区分	歳入	歳出
一般会計	468億7,670万9,290円	443億9,134万7,072円
特別会計	国民健康保険 172億8,297万708円	160億6,332万2,868円
	狹山市駅東口土地区画整理事業 4億6,749万9,515円	4億346万9,256円
	介護保険 72億9,920万7,868円	69億9,841万9,576円
	後期高齢者医療 13億3,565万5,919円	13億286万3,410円
合計	732億6,204万3,300円	691億5,942万2,182円

企業立地促進事業.....1億346万3,300円
店舗・住宅リフォーム補助事業.....439万3,000円

●土木費
一般市道整備事業.....3億7,023万7,369円
いっ水対策事業.....364万3,500円
平地林公有地化事業.....16万4,850円
斜面緑地更新事業.....267万7,500円
狹山市駅西口地区

第一種市街地再開発事業.....6億9,604万6,600円
新都市機能ゾーン整備事業.....6,055万6,550円
入曽駅東口地区市街地開発事業.....1億141万1,725円
都市計画道路整備事業.....1億1,610万4,515円
市営住宅鶴ノ木団地建替事業.....3,296万550円
既存市営住宅改修等事業.....6,015万1,582円

●消防費
消防機械施設整備事業.....1,926万7,500円
公共施設耐震改修事業.....615万2,373円

●教育費
小・中学校連携教育推進事業.....90万円
学童保育室整備事業.....1,967万910円
小中学校校舎等改修事業.....1億2,097万6,881円
小中学校校舎等耐震補強事業.....6億853万8,733円
小学校校舎空調設備改修事業.....1億7,823万3,678円
学校給食施設更新計画策定事業.....274万500円
公共施設耐震改修事業.....7,379万2,950円

■性質別内訳 (表2)

項目	金額
人件費	97億9,552万円
扶助費	94億3,535万7千円
公債費	34億5,344万1千円
普通建設事業費	40億7,035万3千円
災害復旧事業費	2,915万2千円
その他の経費(物件費等)	176億752万4千円
合計	443億9,134万7千円

■重点事業の主な決算 (表3)

●総務費

旧狹山台北小学校跡利用施設整備事業...4億8,138万9,943円
狹山元氣大学運営事業.....709万948円
市民交流センター整備事業.....877万8,376円
地区まちづくり推進事業.....811万4,000円

●民生費

こども医療費支給事業.....4億6,068万9,678円
つどいの広場整備事業(拡充)741万3,618円
公共施設耐震改修事業.....1,605万8,700円

●衛生費

妊婦一般健康診査事業.....9,512万5,510円
がん検診推進事業.....2,926万299円
子宮頸がん等ワクチン接種助成事業...1億3,728万1,905円
環境基本計画策定等事業.....719万2,500円
次世代自動車購入補助事業.....1,000万円
快適環境づくり対策事業.....1,391万2,211円
不法投棄防止対策事業.....940万5,420円
稲荷山環境センター設備改修事業.....1億6,804万1,500円

●労働費

市民憩いの広場管理運営事業.....194万2,500円
離職者支援スーパーアドバイザー事業.....293万7,649円

●農林水産業費

農業施設機能保全事業.....329万7,000円

●商工費

商店街共同施設管理運営事業補助事業...990万8,000円

平成23年度 公営企業会計決算状況

問合せ経営課へ内線2721

平成23年度の水道事業会計及び下水道事業会計の決算が認定されましたのでお知らせします。

なお、下水道事業については、平成23年度より地方公営企業法を適用し、企業会計方式を導入しました。

水道事業会計

●収益的収入及び支出

収入	支出
30億7,994万2,463円	28億3,993万4,219円

未処分利益剰余金2億1,396万7,265円(税抜き)は、減債積立金に積み立てました。

●資本的収入及び支出

収入	支出
1億5,465万7,625円	8億7,336万9,266円

不足額7億1,871万1,641円は損益勘定留保資金などで補てんしました。

下水道事業会計

●収益的収入及び支出

収入	支出
28億3,060万3,532円	26億4,511万3,660円

未処分利益剰余金1億5,073万6,817円(税抜き)のうち、1,000万円を減債積立金に積み立てました。

●資本的収入及び支出

収入	支出
13億4,775万3,240円	21億9,459万2,812円

不足額8億4,683万9,572円は損益勘定留保資金などで補てんしました。